

第3回 JR 笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会 議事概要

日時 : 平成 31 年 1 月 28 日 (月) 10 時 00 分～11 時 30 分

場所 : 笠岡市役所 3 階 第 1 会議室

参加者 : 委員 8 名出席, 欠席無し
事務局

配布資料: 次第、配席図、資料 No. 1～No. 2

次第 :

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告案件
 - 1) 第 2 回委員会の主な意見等について
4. 議事
 - 1) 整備検討案の見直しについて
5. その他
6. 閉会

【会議要旨】

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告案件について

○報告案件 1) 第2回検討委員会の主な意見等について

(主な意見)

- ・別業務の賑わい創生調査・検討業務ではどのような検討をしているのか。また、その中で南北連絡施設の位置づけを具体的に教えてほしい
→今ある資源を活用しながら、駅周辺でどのようなにぎわいを作ることができるかという検討を「笠岡駅周辺整備基本構想」の第一段階として行っており、南北連絡施設等の整備は第二段階となる。内容は、大きく2つの検討事項があり、1つはまちづくりやにぎわい創出の担い手の方に関するソフト面からの検討で、2つ目に駅周辺に人が集まるために必要な施設や機能などのハード面からの検討を行っている。

4. 議事

○議事 1) 整備検討案の見直しについて

(主な意見)

- ・費用対効果がわかりづらく、算出した数値が正しいのか判断できない。また、徒歩の場合は階段などは負担が大きいと思うが、単純に距離のみで算出してよいのか。
→費用対効果は、国土交通省の費用便益マニュアルに基づいて算出している。短縮時間に対する時間価値は1分当たり40円、走行経費は走行距離1km当たり23～26円、歩行者の移動サービス向上は1回あたり20円で計算している。
- ・マニュアルの通りだから良いかは疑問なので、うまく適応しているか吟味し、費用換算の考え方がわかる資料を追加してほしい。過年度調査による予測結果を用いたということだが、いつ実施したどのような調査か。
→平成25年に実施した調査で、利用者数は現在とほぼ変わらず乗車約3700人としている。笠岡駅にどこから来ているかを、字ごとの国勢調査の常住地による流出人口から推計した。
- ・整備によって駅前広場や周辺の渋滞が緩和されるなどの課題の解決だけでなく、南北がつながりにぎわいに波及することが大切で、にぎわいが生まれることに期待しているという声もある。この検討委員会の議論は自由通路や広場をどうするかではあるものの、まちづくりの観点から考えることが必要だと思う。駅北側での取り組みと上手く連携がとれて、駅南側へも波及していくなど、まちづくりの起爆剤になる事業だということも言ってもいいと思う
→笠岡駅から半径300mほどの狭い範囲に、駅とバス、タクシー乗場、南側には旅客船ターミ

ルがあり、狭い範囲に集約されているという利便性の高さを活かしていきたい。駅周辺を都市機能誘導区域に定める検討もしており、駅周辺は人を集めていく重要なエリアということで、コンパクトなまちづくりという視点からも一致していることも表現していきたい。

- ・ 前回の議事録からは案⑤が適切ではないかという意見もあるが、委員会として案⑤で進めてよいか等の決定はしていないように思う。

→前回の委員会では決まっていないが、今回、費用対効果も含めて比較した結果、事業費的にも案⑤がよいのではないかとすることを資料でお示しした。

- ・ 費用対効果の費用の計算には、南口広場整備は含まれているか。

また、南口広場は全て市が所有する土地で、官有地のみ使用だと、土地代などの費用がかからず安く抑えられるということか。

→南口広場の整備は費用対効果の計算に含まれている

土地は官有地で示しているが、形状等課題もあるため、今後の検討事項としても挙げているように、民地の利用も検討する必要があると考えている。

今回の事業費検討では用地費等を除いているため、今後、事業費の縮減等もふまえながら検討していきたい。

- ・ 自由通路で南北の行き来が良くなるということだが、最終的には周辺に人が歩いてにぎわいが生まれないと整備の意味がないと思う。南北ともに人の行き来が活発になったうえで、南側の方のにぎわいのために、店舗ができたり他の施設ができると考えているのか、何か起爆剤となるような仕掛けを作る構想があるのかどうか教えて頂きたい。現状のままだと、動線は整備されるものの交流とまではいかないように思う。

→現在策定中の立地適正化計画では駅南側も含めて都市機能誘導施設を位置付けたり、居住誘導をするという計画である。南側からのアクセスができれば土地利用の価値も上がってくると考えており、居住や商業との歩行者動線を整備することによる連携を検討する必要があると考えている。整備により市役所と港の間のエリアの歩行者動線の確保をイメージしている。

- ・ バスか自転車で駅を利用するが、南口に改札があれば便利だと思うので案②、③、⑤のどれでも利用ができればよいと思う。南口広場はバスや車がメインになっているが、南側にはどこに自転車置き場を設けるのか。車で送迎をしてもらう人ばかりではないので、自転車の利用を考えることも大事だと思う。駅北側の駐輪場も整理されておらず見た目が悪いので、北側の方に関しても整備を考えてほしい。

バスに関しては、北側に乗降場が整備されているが、車が邪魔をしていると感じることがあるので、北口周辺の交通についても考える必要があると思う

→鴨方駅のような整備ができれば十分な施設が確保でき整理もできているので良いと思うが、確保できる用地等も含めて今後詳細に検討していきたい

- ・北口周辺にもあるように、民間で駐輪場を経営する人が出てくるかもしれないので、民間にお願いするという考え方もある

自転車アクセスの割合は2割程度みられるので、駐輪場の整備は大事な視点だと思う
- ・港に向かってデッキが整備されるとありがたいが、港から船を利用する人は高齢者も多いので、できるだけ最短距離になる直線で整備してほしい。

→デッキは例えば鴨方駅のように、国道を渡れるようにしたいと考えているが、状況を見ながら整備方針を再検討していきたい
- ・南口広場は、駅へのアクセスを考えれば整備すべきと思うが、港までのデッキについては、笠岡市に住む人でも、ほぼ島へ行ったことがないと思うので、観光客に分かりやすい動線整備をして観光客数を増やすためなのか、島民のためか、今後利用が増えるから整備するのかなどを考えて整備すべきだと思う。
- ・1つめの段階として、自由通路+南口、その後第2段階のようなかたちでデッキ整備に切り分ける考えなので、デッキについてはもう少し検討する時間があると感じる。
- ・南側のショッピングモールを利用していたので、自由通路ができたとしたら南側に行く人はいると思う。自由通路で行きやすくなるし、便利さからは良いと思う。高校生のときは遠回りになるので踏切ではなく地下道を使っていて、自転車の友達と一緒にいるときも、自転車を押して地下道を通っていた。
- ・今のところ、自由通路は自転車は通れない計画か

→現在の案では自転車は通れないが、今後の検討事項である
- ・図に北側も含めて、自由通路の使われ方や人の流動を書き込んでほしい。費用対効果の説明も丁寧に整理してほしい。p16の評価の部分に総合評価を加えてほしい。p20の今後の検討にはにぎわい創生事業と連携することも加えて、まちづくりの観点から南口をアピールすると良いと思う。

高校生が港の方に行くような、うまく自由通路を使ってもらい、南口改札があれば便利だという姿が見えるような整理にすると良いと思う

→次回、p20の具体化をお示しする
- ・利用者数の想定を増やすこともあり得ると思うので、シナリオやストーリーを作って考えていく必要があると思う。また、高齢者の移動など、目に見えない便益を含めた説明も含めた説明をしていく必要があると思う。まち全体の話につながっていく、夢のある話も含めたストーリー展開として最終的に議論をしたいので、その方向性で資料を見直してほしい。デッキと駅周辺整備を分ける考え方は良いと思う。にぎわい創生との関連性で整備が位置付けられていることを前面に出してほしい。それをもって3月に最終的な方向性を出

したい。

5. その他

6. 閉会